

JST Innovation Bridge～四国地区四大学 研究発表会～のお知らせ

四国 TLO では、四国内の 4 大学（徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）及び科学技術振興機構（JST）と連携し、東京・秋葉原にて第 2 回目の研究シーズ発表会（マッチング）を行います。【ナノテク・材料・機械分野】と、【医薬・バイオ・環境分野】の 2 会場に分けて計 15 テーマについて研究者が技術内容を直接ご説明します。いずれも、今後の発展が楽しみな選りすぐりの研究シーズばかり。ぜひ、ご来場ください（要申込み）。

開催概要

名 称 JST Innovation Bridge～四国地区四大学 研究発表会～

日 時 平成 19 年 12 月 14 日 13：00～16：50（開場 12：30）

場 所 秋葉原コンベンションホール（秋葉原ダイビル 5F）

主 催 徳島大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 科学技術振興機構

共 催 株式会社テクノネットワーク四国（四国 TLO）

参加費 無料

ホームページ <http://www.deainoba.jp/meeting/071214/index.html>

申し込み先 【上記ホームページからお申し込みください】

問い合わせ 株式会社テクノネットワーク四国（四国 TLO）

電話 087-811-5039（担当 大山 ohyama@s-tlo.co.jp）

もし詳細な発表も掲載できるようであれば、下記も加えてください

発表テーマ（A会場：ナノテク・材料・機械分野）

A1. バイオマス由来化合物を有用化合物に変換する固体触媒の開発

- 炭素系固体触媒による高速デンプン糖化

高知大学 理学部附属水熱化学実験所 助教 恩田 歩武

A2. 多孔体における微細孔表面の評価技術

- 吸着剤として用いられる多孔体中に存在する細孔の内壁表面の幾何学的パラメーターの世界初の評価技術

徳島大学 大学院人間・自然環境研究科 自然環境専攻 教授 今井 昭二

A3. 超軽量金属 MHS 成形体の製造方法とその特性について

- 接着剤固化による超軽量 MHS 成形体 -

香川大学 大学院知能機械システム工学研究科 造形工学専攻 教授 三原 豊

A4. 超臨界二酸化炭素高周波プラズマプロセスの開発研究

- ナノマテリアルや複合材料の生成プロセスの開発 -

愛媛大学 農学部 環境産業科学 准教授 川嶋 文人

A5. 圧電トランスを用いた小型プラズマ発生装置の開発

- 誘電体バリア放電型オゾン発生器への応用

徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 エネルギーシステム部門 助教
寺西 研二

A6. 層状ナノ粒子膜製造技術の開発

- 反応性化学吸着単分子膜を用いた層状ナノ粒子膜製造技術の開発 -

香川大学 工学部材料創造工学科 教授 小川 一文

A7. 高付加価値触媒用有機リン配位子プラットフォーム

- 環境調和とコストに配慮した遷移金属触媒開発のために

愛媛大学 大学院理工学研究科 物質生命工学専攻 准教授 林 実

B会場（医薬・バイオ・環境分野）

B1. ミトコンドリア融合剤

- ミトコンドリア融合剤の肥満症及びガン研究への応用 -

徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(薬学系) 准教授 新垣 尚捷

B2. がんペプチドワクチン療法

- 多種類のがんに効果的な普遍的ペプチドワクチン療法の開発 -

愛媛大学 大学院医学系研究科 医学専攻 教授 安川 正貴

B3.No t c h分子を標的とした関節リウマチ・がん治療

- 免疫関連疾患の新たな治療法 -

徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(医学系) 教授 安友 康二

B4.新奇なバイオ分子育種ツール

- 画期的なベクターシステムの開発に役立つ納豆菌の新機能遺伝子 -

高知大学農学部農学科食料科学コース 准教授 芦内 誠

B5.食肉軟化のための新規コラーゲン分解酵素の開発

- 高齢者向けの高品質でやわらかい食肉製品の開発に向けた酵素の開発 -

香川大学 農学部 准教授 小川 雅廣

B6.木材腐朽菌からの分解剤を用いる環境ホルモン汚染の浄化

- 安価で比較的短時間での環境ホルモン汚染浄化法 -

愛媛大学 大学院農学研究科 生物資源学専攻 教授 橘 燦郎

B7.西南暖地における食用カンナの多用途利用開発

- バイオマス、デンプン生産性、理化学的特性の解明 -

高知大学 農学部 暖地農学科 准教授 宮崎 彰

B8.黒毛和種特異的な成長ホルモン受容体遺伝子多型と判定法

- 遺伝多型診断による品質改善及び品種鑑別へのアプローチ -

香川大学 農学部 准教授 大久保 武